

NO12

俺えんたいごう体壕

所在地は伊賀市緑ヶ丘 名阪国道沿い



本土空襲による戦況の悪化から、軍事基地の拡散と軍需工場の疎開が模索され、わたしたちの町にも航空基地の建設が計画されました。

旧上野市南部の丘陵地（現在の緑ヶ丘中、上野東小学校付近）に飛行場の滑走路が建設されました。

その建設にあたっては、多くの学生や市民、そして韓国の人たちが作業に従事させられたそうです。

軍用機の格納に使用された俺えんたいごう体壕のいくつかは、現在でも小さな池と化して残っています。しかし宅地開発がすすみ、今やそうした歴史が遠くへ忘れ去られようとしています。

今いちど、過去を認識し、現在の「平和」について考えていきたいと思います。

20051115 掲載